

2024年度(令和6年度)夏吉保育所自己点検・自己評価表

評価実施日: 令和7年3月31日

評価については、A:達成できた B:ほぼ達成できた C:一部改善を要する D:改善を要するの4段階で評価する。

No.	評価項目	評価				注意事項
		A	B	C	D	
(1)園の組織と運営に関すること						
1	職員の共通理解のもと、自園の保育課題を明確にし、児童・保護者・地域の実態や実情に応じた適切な保育目標となっているか。		○			「入所する子どもの最善の利益の追求」の為に、「共に生き、共に育ちあう」を保育理念として、「拝む手で礼儀正しく」を保育目標にかかげ、その実践に取り組まなければならない。
2	明確な目標をもって職員会議が運営され、教職員の共通理解のもと、機能的に組織・運営がなされているか。		○			毎月1回の職員会議を通じ、行事や保育内容等の確認を行っている。
3	事故等緊急事態に対する安全対策及び、対応マニュアルの整備がなされているか。		○			充実した災害時避難マニュアルを整備しなければならない。
4	保育目標や方法等を共通理解し、組織的な園内研究の推進に努めているか。	○				園内研修を実施して共通理解の推進に努めねばならない。
(2)保育内容とその展開に関すること						
1	各年齢ごとの重点目標を明確にし、具現化した保育課程の編成・実施がなされているか。		○			年齢ごとの保育課程の編成・実施がなされている。
2	現代の保育課程を見通した道徳性の芽生えを培う保育や、幼児期にふさわしい知的発達等を促す教育が推進されているか。		○			幼児との毎日の生活の中で、その都度、大事なことを伝えている。
3	幼児の実態や育ちをとらえ、ねらいや内容を設定し、計画的に実践しているか。		○			月案、週案にそって実践している。
4	一人一人の幼児の心に寄り添い、よさを認め伸ばすきめ細やかな指導に努めているか。		○			一人一人の良さを認める援助の仕方について職員間で話し合う。
5	幼児にとって主体的な生活態度や創造的な思考を促すような、魅力ある環境構成がなされているか。		○			自由遊びでは、幼児の自発性を発揮できるよう、適切な援助を心がけている。
(3)健康管理・食事に関すること						
1	登園時や保育中の子どもの健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施しているか	○				登園時の保護者との話や、登園してからの幼児の様子を観察し、一人一人の健康状態に応じた健康管理を実施している。
2	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させているか。	○				診断結果の伝達は出来ており、保育にも反映されている。
3	感染症の対応については、発生の状況を必要	○				発生時には、掲示板や口頭、メール配信を通じ保護者・全職員に連絡

3	に応じて保護者、全職員に連絡しているか。	○			している。
4	アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。	○			専門医からの支持を得て、適切な対応を行っている。
5	子どもが食事を楽しむことが出来るように工夫をしていますか。	○			個人差や食欲に応じ、量・材料・切り方等を工夫し、食べ方についても注意し、残さずよく噛んで食べる事が楽しい事だと指導している。
(4) 保育環境に関すること					
1	保育室・遊戯室・園庭等は保育士の創意を生かした環境整備が行われているか。		○		保育に適した環境整備が行われると共に、危険防止にも注意をはらっている。
2	幼児がイメージを広げたり刺激されたりする素材や遊具等の環境が工夫され、活用出来ているか。			○	遊具等の環境をより充実させる為に、職員間で何が幼児にとって、必要なかを話し合っていく。
3	職員が協力して園地・園舎の整備・管理に当たり、定期的に点検を行っているか。		○		防災設備点検(月1回)、保育所内外の安全点検(週1回)、園庭の草取り(必要時)等を職員が協力して実施している。
4	地域の自然環境や公共施設等を把握し、有効に活用しているか。			○	散歩や園外保育等をもっと行い、自然環境に触れ公共施設を有効に活用していきたい。
5	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。		○		職員の時間差出勤のため職員の引き継ぎ時に子どもの状況をきちんと伝え、必要な場合は保護者へ担任より電話連絡をしている。
6	障がい児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。		○		支援を必要とする児童に対する保育の仕方について、園全体で話し合いをもっている。
(5) 子育て支援に関すること					
1	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。	○			送迎時の日常的な情報交換に加え、必要に応じて、個別に相談に応じている。
2	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているか。		○		必要なことは記録している。
(6) 家庭や地域との連携に関すること					
1	小学校と定期的に交流したり保育内容や児童・幼児等の理解を行ったりしているか。		○		定期的な保小連絡会議をおこなっていないが、就学に向けての情報提供は行い、就学前は小学校との交流を行う
2	保護者や外部評価等の意見を取り入れ、保育活動に生かしているか。		○		保護者の意見を取り入れているが、外部評価も検討していきたい。一斉メールやネットでの写真販売を取り入れる。
3	保育を公開したり地域の行事に参加したりして保護者や地域住民の理解や協力を得て、開かれた保育園づくりを行っているか。		○		戸外での行事は人数制限なしでおこなったが、駐車場の問題もあり、大きな行事は2部にわけておこなった。地域の方とのかかわりも少し増え地域のお敬老会に年長児は参加した。
(7) 安全確保への取り組みに関すること					
1	あらゆる場面を想定しての危機管理体制の		○		避難訓練内容の検討や実施を通し、共通理解を図っている。

1	共通理解が図られているか。		○		
2	外部からの侵入に対する対応策がとられているか。		○		駐車場入り口や玄関の施錠、防犯カメラ設置等を通し、外部からの侵入を防止し、侵入された時の対応策を講じている。
3	幼児に見知らぬ人や挙動不審な人に出会った際の対応について指導されているか。	○			避難訓練等を通じ、不審者の対応について話している。
4	警察等との連携を図り、地域パトロールや情報交換の協力をお願いしているか。		○		警察による巡回を必要に応じ依頼している。

と

ずつ